

# 心ひとつに

弥富市立桜小学校  
学校だより  
No.8  
平成25年6月25日

## 「地域ぐるみで子どもを育てる」ーゲストティーチャーありがとうございます

本校では、今年度から学校評価の分析結果や児童の実態を踏まえ、「心の教育」の充実が喫緊の課題であることを全職員が認識し、道徳教育に力を入れ、「**自他のよさを認め、よりよい人間関係を築いていくことができる児童の育成**」を研究課題に設定し、道徳の授業研究を中心に研究を推進しています。

道徳の授業では、3年松組と2年竹組が保護者の方をゲストティーチャーにお招きし、授業を行いました。ゲストティーチャーの体験談等を児童は真剣に聞き入ってくれました。

道徳に限らず、学校・家庭・地域の三者が連携し、地域ぐるみで「**温かく、思いやりの心に溢れた桜っ子**」を育てていきたいと考えています。どうかご協力よろしくお願ひします。

## 全校朝礼の話より一見えない部分を見る

(ネクタイを上着の襟で隠し)「さて、今日の校長先生のネクタイの色は何色でしょう?」「分かった人は、黙って手を挙げてください」

K男:「白です」

校長:「そうですね、白っぽい色ですね。ほかにはどうですか?」

M子:「黒です」

校長:「黒も混じっていますね。ほかにはどうですか?」

H男:「青です」

校長:「青も混じっています」「分かった人はすごいです。それでは、見てみます」

(上着の襟を元に戻して、ネクタイを児童に見えるようにする)

校長:「ネクタイの色を分かった人もいますが、ほんのわずかです。どうして、ほとんどの人は分からなかったのでしょうか?」

M子:「見ていなかったからです」

校長:「そうですね。校長先生のネクタイの色まで見ていなかった人がほとんどですね」

**「つまり、見ようとしないうちは見えない」ということです。**

このことは、友達を見ることにも当てはまると思います。学校生活の中で、友達を「あの子は意地悪だから嫌いだ」などと、以前からの評判やイメージで見ているはいないでしょうか。人は、毎日成長しています。昨日までの自分と今日の自分は違います。今日の自分と明日の自分とも違います。このお話を聞いている間にも、何かしら考えを深め、成長している友達もいます。うわさなどのイメージにとらわれることなく、「自分自身の目で友達の良さを見つけるぞ」という意識をもって、友達の成長や良さをしっかり見てほしいと思います。

校長:「桜小では、今、友達の良さを見つける取り組みをしていますね。何と呼んでいますか?」

K男:「桜っ子しぐさです」

校長:「そうですね。桜っ子しぐさです」

人の悪いところはすぐ見つかりますが、友達の良さは、見ようとしないうちに見つけることができません。これからも、「桜っ子しぐさを見つけるぞ」と意識して、友達の良さ、思いやりの言動を見つけてください。

